



あ けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の市政運営に多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍のため中止していた「てだこウォーク」を3年振りに開催することができました。浦添の春の三大風物詩である「東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ」「てだこウォーク」「沖展」の3つのイベントとおして、多くの市民、そして、ご来場者の方々と一緒になって、春の訪れを感じることができました。5月に入りますと、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが変わり、私たちの生活にもコロナ禍以前のような賑わいと活気が戻ってまいりました。

そして、秋に開催した「浦添でだこまつり」は、新体育館建設工事のため、例年とは違い、メイン会場を浦添カルチャーパークへと変更いたしました。が、てだこ広場の芝生の上で、秋風を感じながらまつりを楽しむことができ、多くの方々から、ご好評をいただきました。

また、昨年は浦添市と中国福建省泉州市との友好都市締結35周年の節目の年でありました。両市のさらなる交流を目的に浦添市からの友好訪問団が泉州市を訪れ、晋光小学校の子どもたちをはじめ、商工・美術・武術の各関係者と交流するなどして、両市の友情を深めるとともに、友好の絆をより強固なものとなりました。

昨年一年をとおして、多くの方々との出会い、交流をさせていただきました。市民の皆さまを



浦添市長
松本哲治

はじめ浦添市を愛してくださる方々、応援してくださる方々との「繋がり」をより良いまちへの発展に繋げてまいります。

本市はこれからも、歴史と伝統を重んじ、未来を見据えて、「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を築いてまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、引き続き、市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健康と、令和6年が市民の皆さまにとりまして、夢と希望にあふれた素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



あ けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。

はじめに、あいさつに先立ち、昨年8月に発生しましたハワイ・マウイ島の火災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、本議会運営に対しまして日頃から、ご提言・ご支援を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は振り返りますと、約3年続いた新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、コロナ禍で中止や延期となっていたイベント等の再開や、国内外から多くの観光客の姿を目にするようになり、コロナ禍からポストコロナへの変化を感じた2年でありました。

本市においても、地域経済の回復を期待される一方でありますが、円安などによるエネルギーや食料品をはじめとするさまざまな物価高騰の波が市民生活全般に大きな打撃を与えており、厳しさを増しております。

当議会といたしましては、定例会や臨時会において、子育て世帯や低所得者世帯への支援として、物価高騰対策関連予算を議決するなど、市民の皆さまの生活安定の一助となるよう取り組んでまいりました。今年も引き続き、市民が安心して暮らすことができる環境を守り続けていくために、時勢をとらえた政策実現に努めて参る所存でございます。



浦添市議会議長
比嘉克政

一方、記憶に残る嬉しい話題を一つ取り上げますと、WBCでの日本代表「侍ジャパン」の14年ぶりの栄冠は、日本中が歓喜に湧き、我々に夢と感動を与えてくださいました。勝利への情熱を堅持し、窮地においても平常心を保って全身全霊でプレーに打ち込む選手の姿は、子どもたちに範を示し、今後の成長に大きな影響を与えたことでしょう。

本市議会は今年、市民の皆さまから負託を受けた任期4年の最終年度を迎えます。引き続き、市民の皆さまの期待と信頼に応えるべく、議員一丸となって全力で取り組んで参る所存でありますので、市議会への変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、令和6年は辰年。本市にとりまして天翔る龍のごとく力強く飛躍の年になりますよう、また市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



年頭のごあいさつ

